

タイムを計測するんですね。ですから参加者は全員と。そしてまたタイムの計測は機械でやりますので、チップが必要なんですね。そういった実費代がかかってしまうということと、あとその後、これも民間でやってきた大会なものですから、後での振る舞いというのがあるんですけども、そういった経費もある程度参加者からいただくという発想から、この金額になってしまったということでございます。

なお、今回補正させていただいて、ちょっと有名なランナーをとということでございますが、今回は、小学生ですね、主に、あそこの陸上競技場の中を走ると、外に出ないで、そこで市内の保護者の方たちも応援に来てもらおうと、さらに、ゲストランナーについては、いろんな指導を終わった後してもらおうということで、単に市外の方に、知名度のある方を連れてくるから参加してくださいということだけじゃなくて、市税を使わせていただくわけですから、市内の子供たちの、何ていうんでしょうか、競技力の向上とか、あるいはマラソンに関心を持ってもらう、そういったことを目的としてやっていきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいというように思います。

○蒲生光男委員長 4番、内谷邦彦委員。

○4番 内谷邦彦委員 今回、構成に関して質問させていただいているのは、方向性がまず見えないという部分です。やっぱり競技性を重視するのであれば、別にマラソン一本でもいいんじゃないのという部分もあります。人を集めようとすると、やっぱり中途半端な運営方向になっているような気がします。あと、先ほども話しましたように、継続している方への案内が余りにもおざなりになっているように思います。そういった方は非常に大切な方ですから、そういった方には常に連絡をとって、毎回来ていただけるような形をとっていかないと、なかなかやはり、誘われれば絶対来ると思っておりますので、ぜ

ひ誘って人数を上げていくと。本当に人数をふやすのであれば、市内の方をどんどん参加させるような対策もとらなきゃなんないし、その辺、どういうふうにするのか、今後十分に検討させていただいて、運営をしていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

私からの質問は以上で終わります。

五十嵐智洋委員の総括質疑

○蒲生光男委員長 次に、順位3番、議席番号12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 一般会計補正予算第3号、総務管理費、委託料336万2,000円、公共施設等整備事業について、市長にお尋ねいたします。

これは1階に食品スーパーが入るように交渉中ということで、きょう現在、まず、決定はしていないという前提でこれからご質問を始めさせていただきますのでよろしいですか。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

五十嵐委員おっしゃるように、残念ながら現在のところ決定はしておりませんので、その前提でお尋ねいただければありがたいというふうに思います。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 そこで、1番には、1階に食品スーパーが入居した場合、2番目に、1階にもし今後、不調に終わった場合ということで、仮定ではあるんですけども、2段構えで通告いたしましたので、よろしくお願いいたしますと思います。

中心市街地を活性化させなくちゃいけないし、観光交流センターにもぎわいが必要だということで、私もこれまで関連してご質問してまいり

ました。やはり何といっても人口減少対策、市の一番の課題だと思いますが、今回の公共施設整備、これからいろいろあるわけですけども、人口減少対策を優先していかなくてはならないと思うんですが、市長のお考えはいかがでしょうか。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 おっしゃるように、人口減少をいかに食い止めていくかということがまず喫緊の課題なんです、それと今回の中心市街地の活性化にかかわるようなタウンセンターの活用というのは極めて重要だと思います。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 21日に選挙人名簿登録者数ということで発表がありました。ことしから18歳選挙権が始まったわけですけども、長井市、3年前と比較すると311名有権者数が減っております。これ、私、非常に興味深い数字だと思います、全県のものを見たんですけども、大幅にふえているのが山形市、天童市、東根市です。やはりこれは地域力があらわれたのかなというふうに思いますね。長井市は13市中、悪いほうから4番目、残念ながら、なんです。5年間の国勢調査でも1,757人減った。これもワースト4位ということで、やはりこれ、今、地域力が試されているんだなというふうに痛感しております。

それで、5月26日に総務常任委員会協議会で、タウンセンター2階には商工観光課、産業活力推進課、農林課、農業委員会等の移転を考えていると紙面でいただきました。これは市長のお考えでしょうか。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 私の個人的な考えとしては、個人的な考え方です。としては、できれば本庁舎以外、保健センターを除いて一つに全部入れればというふうに思っています。教育委員会は移ったばかりなんですけども、教育委員会とはも

う少し距離を近くしていかないと、なかなか意思疎通が図れないなというふうに思っているところでございます。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 やはり、まちのにぎわいをつくるには、市民の方が大勢いらっしゃる市の機能であると思いいいと思うんですが、今上げた課ですと、余り一般市民の方には関係ない、よほどのことがない限り、ここに行って何か用を足そうということはないと思うんですが、そうしますと、保健センターを除く分散している市の機能を仮に入れたとしても、町の活性化、1階にもスーパーが来ていただければ、これは1階はそれなりににぎわうわけですけども、2階には一切まず関係ないということになると思うんですが、その辺はいかがでしょうか。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 ちょっとまず最初にお断りしておきたいんですが、私は、中心市街地の活性化のポイントは、今度つくる複合施設が一番のポイントであろうというふうに思っています。確かにスーパーがまちなかに、特に多くの皆様がお買い物にいらっしゃるというのはにぎわいができますので、本町の商店街そのものが活性化しますけども、ですから役所が入っても短期間というふうに考えていますので、そこのところはどちらかという、買い物に困っている方々の早急な対応としての今回の予算だというふうに考えております。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 どのスーパーマーケットと交渉しているかというのは、多分お聞きしても、これはこれまでの経過で、民間対民間の経緯もあり、やはり不都合な部分もありますので、私は情報としては持っていますけども、きょうはあえて候補に挙がっているスーパーのお名前は出しませんけれども、聞くところによると、今現在まだ不明ですけども、例えば今月

中に決定するとかというふうな話でもないようですけども、もう少し決定までかかるんじゃないかというふうに聞いておりますが、その辺の見通しはいかがですか。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 少々時間がかかるかと思えます。それで、今までは民間と民間の交渉事ということで、私ども、オーナーでも何でもないということなんですけれども、商工会議所もできるだけ早く組織決定をしていただいて、商工会議所と私どもも一緒になって交渉したいと、私どもとしては商工会議所さんのほうに、商工会議所の場合ですと、あそこにスーパーが入ることによって、会員の肉屋さんとか八百屋さんとか魚屋さんが困るという方もいらっしゃるんじゃないかという懸念を会議所さんで持っていますので、ですからそのところは、総会というところは難しいんでしょうけども、ある程度機関決定をしていただきながら、やっぱり会議所も交渉として一緒に入って、一日も早い入居の決定をというふうに思っていますが、少し時間はかかるだろうというふうに思います。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 市内のスーパーとも交渉したりした過程もあるかと思うんですが、残念ながら不調になったというふうに聞いております。

私、昨年の市議会議員選挙のときに、街頭で、本町商店街で何度か、あのころはタウンセンターが行く行くは、ヨークベニマルが撤退するのが決まっていたようでしたので、その跡地利用についても街頭からお訴えしてまいりましたし、昨年6月議会からもずっと何回もタウンセンターの利用についてはお話ししてまいりましたので、何か私の代名詞みたいになっております。

これはやっぱり食品スーパーもある程度の見通しがつかなければ、要するにもうかる見通しがつかなければいらっしゃるだけではないと

思うんですね。今、それを多分いろんな角度から精査をなさっているので、時間がやはりかかっているんだと思います。

市民の願いは、買い物になるべく便利などころにあってほしいという願いがかなわずに、ご入居いただけない場合についても、私、検討しなくてはならないと思うんですよね。今回の336万円の予算は1階入居があるということを前提としておりますけれども、もし1階に入居がなかった場合、市長は今現在どのようにお考えか、お聞きしたいと思います。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 入居しない場合というのは、これは困るわけですけども、入居してもらうようにまず努力すると、しかも、これは私どもだけじゃなくて、商工会議所さんと、あとは、あそこのビルのオーナーが株式会社タウンセンター、それから底地は株式会社信和商事、その2社の親会社が山形中央信用組合ということでございますが、それともう一つ、以前から入っておりますテナント会というのがございまして、これは大体入りたいというのが大部分が地元の会社、地元の商店街のもう一つのサテライトの店舗という格好なので、そちらの、合計しますと、オーナー側が3者ですね。私どもが3者。テナント会も含めて。6者で何とか努力して、入ってもらうというのが前提でございまして、入らなかつたら困るというふうに今は、何が何でも入ってもらうというふうに考えております。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 私、昨年から全体の売り上げについても何度か提言してまいりました。市役所機能全体ということも触れてまいりまして、ただ、市役所全体をあそこに移転するには狭いということだったわけですが、私、いろんな発想の転換をして、大胆に、柔軟に考えていく必要があると思うんですね。もし1階に入居がなかった場合。例えばこの3階の議会棟

部分をこのままにして考えれば、まず市役所機能のほとんどが入居できると私は思っています。議会は毎日開催しているわけではありませんし、そんなに遠くありませんから、議会開催のときに管理職、当局に来ていただければ大丈夫です。ここの耐震は0.6までになったわけですから、まず何とか大丈夫かなと思います。そのような考えをしているんですが、市長に聞いてもこれはなかなか答えにくいと思いますので、答弁は要りませんけれども、私、この市庁舎問題のために、石巻市に行ってきたんですね、昨年。石巻市役所は石巻市の駅前であって、今、空きデパートに入ったんです。さくら野デパートというのがあります。2008年に閉店した。そこを利用して2010年に市役所にして、1階はコミュニティーセンターとかスーパーがあって、2階から6階までを市役所として使用しております。6階が議会棟でした。ちょうど私行ったときに議会開催日でありまして、議会も傍聴してきました。受付で尋ねましたら、2010年に市役所になったときからしばらくの間、たくさんの視察であふれていたと、ただ、2011年3月に東日本大震災がありましたので、それ以降は災害復旧に追われましたので、視察はない、その市役所を見に来る方はいなくなったと思いますけれども、かなりの視察が見えたというんですね。

以前、長井市は、レインボープランのときにはどんどん視察にお越しいただいて、市役所の仕事に支障があるぐらいだったですよ。ですから私は、市役所機能も一つの案ですし、いろんな形で1階、2階を全て活用して、空きビル、空き店舗活用の成功例にして全国に発信すべきだというふうに訴えてまいりました。この辺については市長のご見解はいかがでしょう。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 五十嵐委員おっしゃるように、大変おもしろいといえますか、考えようによっては合理的な利用方法というふうにも思います。

例えば私どもと防災協定を結んだ大田区も、あそこも駅のすぐそばの倒産したビルを購入して、あとは、東北ですと、石巻の例もあるんですが、むつ市も、今から7年ぐらい前だと思うんですが、閉店したショッピングセンターを市役所にとということで、私、途中経過ですけども、見てまいりましたが、そういう活用方法があるだろうと。ただ、あと15年早ければなど。

というのは、今のタウンセンターさんは昭和62年建設、63年ですか、ということで、30年近くたってしまった建物だと。それと、問題は、長井市役所みたいに鉄筋コンクリートだったらまだいいんですけども、鉄骨なんですよ。ですから30年という、鉄骨づくりですと、ちょっと耐用年数からいうともうそろそろ老朽化している建物だと。なおかつ、昭和63年の建物ですから、ある程度の建築の確認、耐震度というのはあるんでしょうけども、役所的なものが入る場合は耐震度調査をして、恐らく足りないというふうに思います。したがって、相当補強しないと使えないというところが難しいかなというふうに今の時点では思っております。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 私は、市役所機能を長い間使えと昨年から申し上げてないですよ。例えば10年とか15年使わせていただいて、あとは後世に市庁舎建設というものを委ねてはいかかというふうなことも申し上げましたし、あと、最優先すべきは、子育て支援センター、あと高齢者の施設、図書館とか、文化機能を含めた複合型施設だと思います。それは市長も同じお考えで、ですから市庁舎も新しく建てる。複合施設も新しく建てる。こういうふうなことで公共施設整備を検討すれば、かなり無理があるというふうにこれまでも申し上げてまいりました。ただ、昨年あたりの時点では、市庁舎が優先だ、複合型施設は同等だけれども、まず市庁舎が優先だというふうに市長は答えられてお

りましたが、今の時点では、複合型施設を優先しようという考えですか。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 複合型施設は、中心市街地活性化基本計画をもう認めていただいたわけですから、その中で、3年後ないし4年後には複合施設に着工するという事は、これは実施しなきゃいけない。一方で、市役所についても、非常にこれだけ災害とか、もう頻発して、いつ何どき地震が起きるかもわからないということで、これも放置しておけないと。ただ、すぐ例えば市で賃料を払えば入れるものだったらいいんですけど、相当お金かけなきゃいけないと思います。ですから私が今一番悩んでいるのは、いかにして一時的に起債とか、いわゆる起債残高、市債残高が一気にふえるような形でなくて、できるだけ平準化できるような形での手法をやっぱり模索すべきだと、それがPFIも含めたいろんな手法だと思いますが、そちらをどうするかということと兼ね合わせて考えていかなきゃいけないと思ってます。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 ビルのオーナーはタウンセンターですので、賃貸するときは、建物というのは大家さんがリフォームしたり手を加えたりして借り主にお貸しするんだと思いますね。ですから長井市が最初からあそこに手を加えるということじゃなくて、その辺を話し合っ、どれぐらいタウンセンターさんが負担できるのかとか、あと家賃については、例えば初年度を多く払って、だんだんと少なくなるような方式もあると思うんですね。そういった検討はなさってますか。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 そういった検討はまだしておりません。まず、市役所全部入れるというところまでの状況じゃないと思ってますので、五十嵐委員おっしゃることもわかりますので、そうい

ったところなども今後検討しなきゃいけないと思いますが、ただ、やっぱり、ある程度長く入るんでしたらですが、10年ぐらいですと、店舗の設計ですから、あれを事務所にするという、外装も含めて相当お金をかけないと難しいと、恐らくアバウトで考えても二、三十億円かけないと役所としての機能は私は難しいと思います。耐震度も含めてそのように考えてます。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 あと、別の視点からお尋ねしますけども、私、子育て支援センターについても他市の状況、天童市や東根市、山形市の状況なども見聞きして、もちろん市長も全てわかっていらっしゃると思うんですが、やはり若い世代の定着には、良質な住宅開発と子育て支援に対する情熱、経済面とそういう遊び場ですか、そういったものが不可欠だと、それが今まで足りなかったから、じわじわと若い世代の人口が減ったのではないかというふうに訴えてきまして、市長ももちろん同感だと思います。2階には、子育て支援のようなものをきちっと、間に合わせでなく、とりあえずですよ、そして複合型施設ができるまで、これもやはり5年、6年、7年ぐらいかかると思うんですね。そういうふうなご提案も申し上げてきましたが、その件はいかがでしょうか。

○蒲生光男委員長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 子育て支援施策で、いわゆるハードとソフトがあって、ハードについては複合施設ということで、少なくとも置賜にはないようなそういう機能をつくって、若い世代の期待に応えていきたい。あと周りの市町村から遊びに来てもらいたいと。あとソフトについても、これはなかなか経済的な部分を支援するというのは難しいところがありますので、これは慎重にしなきゃいけないと思いますが、時間をかけて少しずつでも充実させて、ぜひ長井で子育てをとというふうに、そういつて言ってもらえるよ

うに頑張りたいと思います。

○蒲生光男委員長　ここで昼食のため暫時休憩いたします。再開は午後1時といたします。

午後 0時00分 休憩

午後 1時00分 再開

○蒲生光男委員長　休憩前に復し、午前に引き続き五十嵐智洋委員の総括質疑を続行いたします。
12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員　先ほど屋上で長井おどりの練習をしてきました。大変疲れましたが、2日の当日には、市長を初め、管理職の皆様、議員一丸となって、元気よく踊ってきたいと思っています。

では、午後の質疑を続けたいと思います。

市役所に、屋上に久しぶりに上りましたが、防水ですか、大分きれいになっていますよね。まだまだこの議会棟なんか、これからまだ使えると思って、再認識してまいりました。

では、別な角度から市長にお尋ねしますが、タウンセンターの活用ですけども、一案ですが、今、ふらりにあります中央地区公民館をタウンセンターに移転するという方法も私はあるかと思うんです。まさしく中央ですからね。中央地区公民館。利便性もあると思うんですが、そして多くの方に使っていただく。そういったお考えはお持ちですか。

○蒲生光男委員長　内谷重治市長。

○内谷重治市長　五十嵐委員がおっしゃるように、中央地区公民館のほうに協議をさせていただいて、ぜひあそこの2階を活用いただくようお願いしていきたい。ただ、体育館の部分は引き続きあそこであるということになりますし、あとふらりをどうするかということなども考えなきゃいけないというふうに思っています。

○蒲生光男委員長　12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員　私は月に何度かあの体育館で運動させていただいておりますので、あそこの重要性、大変わかっております。中央地区公民館と私申し上げたのは、山形工科短期大学校の件もありまして、以前から山形工科短期大学校は除雪費用とか、災害が起きた場合、水害が起きた場合、莫大な財政支援をしなくちゃいけない危険性をはらんでいると。関係者の方も、市で支援していただくなら、下に学校を移すのもやぶさかでないというふうにおっしゃっている。学生の不便、危険もあるということで、そういう提言もしてまいりました。あそこですと、職業訓練校ですから、教室もありますし、今、山形工科短期大学校は2年生が13名、今年度18名で31名、以前と比べますとだいぶ少なくなりましたので、当然ふらりを利用していただいている、中央公民館を利用させていただいている諸団体がございますので、さまざまなご意見あろうかと思えますけども、ぜひ一つの案として、関係者と協議をさせていただいて、タウンセンターに中央地区公民館がうまく移転すれば、ふらりの建物を山形工科アカデミーに使っていただくなりして、いろんな諸懸念が解決をして、かつ建設業界の人手不足、職人不足を本当の意味で職業訓練校として、山形工科アカデミーにもご協力いただいて、そういった構想もあるかと思いますが、いかがでしょうか。

○蒲生光男委員長　内谷重治市長。

○内谷重治市長　五十嵐委員おっしゃるように、これは協議をして、同意していただくということを前提にしますと、私もふらりに山形工科短期大学校が入居されるというのは非常によろしいんじゃないかと。特に2階に長井高等職業訓練校がございまして、職訓校と山形工科短期大学校はほとんど同じような中身の部分でございますので、望ましい形になるんじゃないかと。ただ、体育館だけは市民が一般開放ということ

で使えるというふうな仕組みさえつくれば、今の施設を使うという意味では非常に理想的な形になると考えています。

○蒲生光男委員長 12番、五十嵐智洋委員。

○12番 五十嵐智洋委員 大変前向きな答弁いただきまして、ありがとうございます。

山形工科短期大学校も、学生さんですから、体育館は必要ですので、有効に使えると思えますね。例えば土日は一般市民が有効に使って、学生さんは平日使うと。ですから、このタウンセンターの問題を契機にして、いろんな発想ができるかと思えます。私が言った市役所機能というのもそうですし、いろんな将来を見据えて、ぜひそういったことをご検討いただきたいと思えます。やはりせっかく予算をつけていろんな検討をするわけですから、柔軟な発想で、何回も繰り返しになりますけども、空きビル対策の成功例に、どんな形でもいいですから、まず執念を持ってやっていただいて、視察、交流人口をふやす。来年4月オープン予定の観光交流センターにも波及があるようにぜひお願いして、質問を終わります。ありがとうございました。

小関秀一委員の総括質疑

○蒲生光男委員長 次に、順位4番、議席番号11番、小関秀一委員。

○11番 小関秀一委員 先ほど昼のニュースでイギリスのEU離脱が国民投票で決まったというふうなニュースが流れ、日本のみならず、世界中の今後の経済状態なりの影響が心配されるわけで、日本においても少子、さらには高齢化の対応を含めて、いろいろ課題が大きいさなかであります。

通告しております1番目の公立置賜長井病院整備等調査事業についても、本市についても高

齢化のさなかでの医療体制、長期にわたる今後の健康管理を市民は見守っておるところでありますので、さらには、置賜広域病院組合についても、ちょうど私どもが議員として、まだ日浅いわけであります。長期にわたっての計画、改革プラン等が示されながら、今年度からいわゆる会計基準が変わりながら、改革を実行しているというふうなさなかであります。先日、ご承知のとおり、山形新聞にも、山形県でも地域医療の構想素案が新聞紙上で発表され、人口減少、高齢化の進展に伴っての県内の病床機能のあり方、そして在宅医療体制整備の課題について、おおむね10年後をめどにして構想を出すというふうな素案が提示されたようであります。まだ私どもにはこまい部分の説明がございませんが、特に私たちが注目しておるところは、置賜地域の医療体制、置賜病院、サテライトとしての当長井市にある長井病院の体制整備について、どうこの素案に盛り込まれておるのか、また、県からは事前に新聞発表前を含めて説明があったのかどうか、これ厚生参事に確認をしたいと思っております。よろしくお願ひします。

○蒲生光男委員長 松木幸嗣厚生参事。

○松木幸嗣厚生参事 お答えいたしたいと思えます。

ただいま委員が申されたように、国のほうでは、今後、団塊の世代が75歳以上になるということ、いわゆる2025年問題ということに対応するために、平成26年に医療介護総合確保推進法というのを成立させまして、各都道府県において医療の需要、さらに必要な病床を示すということ、地域医療構想を策定するということになりました。これは以前にも話がありましたことではあります。この6月17日に県議会の厚生環境常任委員会のほうで説明があつて、翌日、山形新聞のほうに掲載になったということでありまして、長井市長につきましても、6月10日ではあります。県の部長級であります医療統括